

新工ネ大賞「新エネルギー財団会長賞」受賞

一般財団法人新エネルギー財団が主催する令和7年度新工ネ大賞の地域共生部門において、トヨタ自動車東日本株式会社（以下、TMEJ）、一般社団法人東北自動車産業グリーンエネルギー普及協会（以下、TAGA）及び企業局の3者が共同で応募した取組が「新エネルギー財団会長賞」を受賞しました。

「新工ネ大賞」は、新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入、普及啓発、分散型エネルギーの活用及び地域に根ざした導入の取組を広く公募し、審査のうえ、表彰することにより、新エネルギー等の導入促進を図ることを目的に毎年開催されています。

今回は、TMEJ及びTAGAが取り組む「再生可能エネルギー由来の電力の利用による産業競争力の強化」、並びにTAGA及び企業局が取り組む「再生可能エネルギー由来の電力の地産地消による県内の自動車関連産業の振興」について、再生可能エネルギー導入における地域共生の好事例として評価されました。

令和8年1月28日（水）に東京ビッグサイトで行われた表彰式に、小島局長が出席し、表彰状と盾を授与されました。また、同会場で開催されたENEX2026「第50回地球環境とエネルギーの調和展」では、TMEJ、TAGA及び企業局の3者共同でブースの出展を行いました。ブースの出展をとおして、多くの来場者の方に企業局の取組を知っていただく良い機会となりました。

企業局はこれからもTMEJ及びTAGAと協働してカーボンニュートラルに取り組み、本県の自動車産業の発展に寄与していきます。

<https://www.pref.iwate.jp/kigyoyoukyoku/event/1093980.html>



取組概略図



表彰式の様子

《取組紹介》 入畑発電所営業運転開始

北上市に位置する入畑発電所は、平成2年4月の運転開始から約30年が経過し、発電機、主要変圧器及び配電盤などの電機設備の経年劣化が進行し、長期の発電停止を引き起こす恐れがあったことから、令和2年12月に電気設備一式を更新する再開発電事業に着手し、令和8年1月1日に営業運転を開始しました。

最大出力は、再開前と同じ2,100 kWですが、年間発電電力量は、高効率水車の導入により再開前から約1.3%増量となる約984万kWとなりました。これは、一般家庭約3,100世帯分に相当します。

<https://www.pref.iwate.jp/kigyoyoukyoku/denki/1047427/index.html>



入畑発電所建屋



発電機

クリーンエネルギー導入支援事業

市町村の脱炭素化を推進し、地域の温室効果ガスの削減に寄与するため、公共施設へクリーンエネルギー等設備（太陽光発電設備など）を導入する事業に要する経費に支援を行っています。これまでに、184件約4億6,200万円の支援を行い、令和7年度は、約2,900万円の支援を予定しています。

<https://www.pref.iwate.jp/kigyoyoukyoku/1035396/cleanenergy/index.html>

植樹活動支援事業

地域貢献活動の一環として、水源涵養の促進、環境保全の取組に対する支援を目的として、県内の植樹活動への苗木などの提供や、植樹祭等への職員参加を行っています。

これまでに延べ280地区に約10万本の支援を実施しており、令和7年度は、15地区に約4,300本の苗木の現物支援を行い、34人の職員が植樹活動に参加しました。

<https://www.pref.iwate.jp/kigyoyoukyoku/1035396/shokuju/index.html>